

★安倍首相は16日の衆院本会議で、社会保障「充実」の名でさらなる消費税増税を押し付けていく考えを示しました。首相が社会保障「充実」には消費税増税が必要だとの考えを示したのは初めて。しかし、安倍政権は介護保険から要支援1・2を外すなど社会保障大改悪を計画しており、「充実」はごまかしです。

旗 赤 読者のひろば

日本共産党
砺波市委員会
西尾 英宣
千代 180
TEL 33-6118

【日本共産党砺波市委員会が市長に要望】

市長「高齢者福祉は負担とるべき」!?

日本共産党砺波市委員会は十一日、市長に七項目の要望を提出。要旨と市長のコメントを紹介します。

② 要支援者に対する介護保険制度の適用を外さずサービスの継続を求めめること

国に、「これまで同様、

① 来年4月からの消費税増税中止を求めめること

国の責任で要支援者に必要な保険給付を行うこと・財源を確保すること」を求められたい。

市民のくらし、市の経済を守るため、来年4月からの消費税増税に反対することを表明されたい。

*市長は、「介護保険が補助金のように市町村格差が生じるのはおかしい」としつつ、「高齢者福祉は負担をとるべき。高齢者福祉は基本的に負担、かつ所得応能」との考えを明らかにしました。

から」と容認する姿勢でした。

応能負担の原則が崩れているなか、庶民への

負担ばかり増えている現実をどう考えるのでしょうか？

③ TPPは「聖域」が確保できない場合、交渉脱退を求めめること

国民生活のあらゆる分野に広く影響を及ぼす。また、TPPルールに反する国内法や自治体の条例は改廃の義務が生じるなど、地方自治体の存在そのものも問われる大問題である。

*市長は、「裏切られた感がないではない」としつつ、「交渉だから譲歩も必要」としました。

④ 文化会館屋上の展望施設整備について

チューリップ公園再整備検討委員会や、市民アンケート等行われているなか、拙速と言わざるをえない。少なくとも検討委員会の結果をふまえ、総合的な観点のもと取り組まれるべき。

*市長は「チューリップ公園の検討とは別もの。新幹線がらみの2年間限定の補助金であり、今年やらなければ来年に繰り越すことは出来ず、また、福祉には使えない財源だから理解を」としました。

⑤ 五鹿屋・東野尻幼稚園「統合」について

検討委員会での「統合」案は唐突である。単に施設面だけで考えてはいけない。「先に結論ありき」のような進め方は将来に禍根を残す。ていねいな協議を。

*市長は「南部小学校区に保育所が無いことについて以前から要望がつよい。統合前提というより、私は保育機能を早くつくりたいという思い」としました。

⑥ 徘徊SOS緊急ダイヤルは無料に

議会での議論もなくなりました。

平成二八年四月から利用料一回四五〇〇円とされているが、本来は無料で提供すべきサービスであると考える。

*市長は、「このたぐいは負担をとらなければいけないと思っている。無料はない」としながら、「無料は考えていないが、負担のとり方は検討する」としました。

⑦ 屋根雪降りし作業費助成要件「県内に子等の親族が在住していない」を外すこと

*市長は、「この制度の基本は、親の面倒は家族がいる限り家族がみる、ということ。生活保護基準で区切っている自治体もあるなかで、砺波市は市民税の課税・非課税で区切ることを基本的にしているので、対象が広い方である」として、要件緩和について否定しました。

議会での議論もなくなりました。

議会での議論もなくなりました。

議会での議論もなくなりました。

★米海兵隊の垂直離着陸機MV22オスプレイが参加する国内初の日米共同訓練が16日、台風の影響による強風と大雨の中、滋賀県高島市の饗庭野(あいば)の演習場で強行されました。12機が追加配備され、全24機が県内を飛び回っている沖縄の現状からみても、「負担軽減」とは程遠いもの。

【ただのじぶやき】

11日 市長への要望 (一面参照)。

14日 シンポジウム・ス トップTPP in 富山

政府・自民党が「重要5品目は守る」との公約をほごにする姿勢をあらわにするなか、穴田甚朗J A富山中央会会長、稲垣よし子CO・OPとやま理事長、大橋昭富山県食健連代表、酒井富夫富山大学教授、田口清信富山県農業会議会長、矢野博明富山県保険医協会会長の6人が呼びかけたもの。



▲杉島弁護士の指摘や、青年農業者の宇川氏の発言などに参加者の驚きと共感、理解が広がりました。

定)は民主主義・国民主権を危険にさらす」と題して講演した「TPPに反対する弁護士ネットワーク」の杉島幸生弁護士は、TPPは、交渉中よりもより発効後4年間交渉内容を公表しないことを条件とし、投資家が加盟国政府を訴えることができるISD条項も盛り込んでいることなどを説明。一方で、法的には条約であるTPPより日本国憲法が上位にあり発効後は憲法訴訟もできるとのべました。その上で杉島氏は、国民にTPPの危険性を知らせ、世論の力で必ず阻止しようと訴えました。

シンポジウムでは、杉島氏に加え、呼びかけ人の酒井富夫氏、宇川純矢J A富山県青年組織協議会会長、広瀬妙子新日本婦人の会富山県本部会長、与島明美富山協立病院院長がパネリストを務め、それぞれの立場から発言しました。このうち、宇川氏は、ベトナムのコメが60kg900円であることを紹介し、「TPPで関税が撤廃

されたらコメづくりはできなくなる」と指摘。与島氏は、アメリカが日本に混合診療を要求し続けてきたとのべ、「TPPで公的医療保険がくずされかねない」とのべました。

参加者からは、「TPPで入国管理法の変更が問題になると思うが自治体の入札で海外の安い労働者の入国についてはどうなるのか」「アメリカでは医療訴訟が多いが、TPPに参加すると日本もそうなるのでは」などの質問や意見が出されていました。

15日 やなせたかし 実は私、ひところ雑誌『詩とメルヘン』の愛読者でもありました。氏の訃報に、「いま、アンパンマンのうた歌ってきたのに！」というお母さんなど周りでも驚きの声。従軍体験が生むアンパンマンをはじめ、氏の作品にこめられた思いの深さに脱帽です。その思い、繋がらないと…。

(何でもお気軽にご連絡・ご相談ください・多田携帯 090-3369-8216)

【続きやう日誌】

13日 自分の娘の結婚式・披露宴というものに初めて参加しました

いつかそういう日が来るんだろかな、と前から覚悟はしていましたが、やっぱり来ました。パーズンロードとかいうものを娘の手を引いて歩くなどというのは、西欧文化の中で生活していない日常生活からはちよっとピンとこなくて、まして足の長さが足りない自分がああいう格好で澄ましている姿を想像すると、ちよっとお笑いじやないか、なども考えたっていました。現実になつてしまいました。

それにしても人間というのはおかしな生き物です。自分たちが望んで自分たちでとりおこなうセレモニーなのに、そこに臨むにあたってめちやめちや緊張して、ひどい時は心臓が飛び出そうになったりするのですから。ロードを歩きはじめると、組んだ娘の腕が激しく震えているのですが「大丈夫だよ」と声を掛けてやるわけにもいかず、無言で婿の待つ到着点まで進むしかありません。時々肘で合図を送ったのですが、気がついてたでしょうか？

それにしても困ったのは、

どうも私が泣くことを期待されていたみたいだということ。こういう場合父親は、感極まって必死に涙をこらえるのが習わしで、ちゃんとそういう姿をみなさんにお見せしなくてははいけない、といった圧力のようなものを感じました(笑)。

酌をして回ると「今、どんな気持ち？」から始まって「あんた、きつともうじき泣かんなんようになるわ」とか、しまいには大阪弁で「あんたちよっとおかしいで！父親やったらそんな嬉しそうな顔しとるもんやおまんやろ！」との叱責までいただきました。

同じ市内に住んでいて、婿殿としよっちゅう一緒に夕食を食べに来たりするので、お別れだとか、盗られてしまったとかいう感じはほとんどなくて、ただただこれからちゃんと二人で生きていくって欲しいと願うばかり、むしろ娘はこんなに多くの人たちとの関わりに支えられて生きて来て、今日の節目を迎えることができたんだなという、感謝の思いと喜びの方が強かったです。妻もとても楽しい式だったと感想を語ってくれたのが嬉しい気がしました。娘の結婚式に涙も流せない冷血漢が隣に居てくれたのです。